

講師略歴（敬称略） ※随時更新いたします。

冨山 和彦（株式会社経営共創基盤 IGPI グループ会長、新しい資本主義実現会議メンバー）

ポストンコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、2003年産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。2007年経営共創基盤（IGPI）設立、2020年10月より現職。2020年日本共創プラットフォーム（JPiX）を設立し代表取締役社長就任。パナソニック社外取締役。経済同友会政策審議会委員長、日本取締役協会会長。財務省財政制度等審議会委員、内閣官房新しい資本主義実現会議有識者構成員、他政府関連委員多数。

永山 治（中外製薬株式会社 名誉会長）

1947年、東京都生まれ。1971年慶應義塾大学商学部を卒業後、日本長期信用銀行入行。ロンドン支店勤務等を経て、1978年中外製薬に入社。国際事業部部長、事業企画部長などを歴任し、1992年代表取締役社長・最高経営責任者に就任。2012年代表取締役会長・最高責任者、2018年代表取締役会長を経て2020年3月特別顧問 名誉会長。2022年3月名誉会長（現任）。また、1998~2004年まで日本製薬工業協会会長を務める。ロシュ拡大経営委員会委員（2006年~2018年）、公益財団法人東京生化学研究会（現公益財団法人中外創薬科学財団）理事長（2006年~）、一般財団法人バイオインダストリー協会理事長（2009年~）、ソニー株式会社（現ソニーグループ株式会社）社外取締役（2010年~2019年）、同社取締役会議長（2013年~2019年）。内閣府イノベーション政策強化推進のためのバイオ戦略有識者会議座長（2019年~）株式会社東芝社外取締役 取締役会議長（2020年~2021年）。

山中 礼二（一般財団法人 KIBOW KIBOW 社会投資ファンド 代表パートナー、グロービス経営大学院 教員）

キャノン株式会社で新規事業の企画・戦略的提携に携わった後、グロービス・キャピタル・パートナーズでベンチャー企業への投資と経営支援を担当。その後、医療ベンチャーのヘルス・ソリューション（専務取締役 COO）、エス・エム・エス（事業開発）を経て、グロービスに復帰。社会起業家向けのインパクト投資を行っている KIBOW 社会投資ファンドなど各種投資プログラムの運営を行っている。一橋大学経済学部卒。ハーバード・ビジネス・スクール修了（MBA）。

黄 春梅（新生企業投資株式会社 マネージングディレクター、新生インパクト投資株式会社 代表取締役）

上海財経大学経済学部卒、神戸大学経営学研究科修士号。米国公認会計士、CFA 協会認定証券アナリスト。2005年より新生銀行にて一貫してプライベートエクイティ投資業務に従事。ファンドの投資委員、上場企業を含む複数の投資先とファンド運用会社の取締役や監査役を歴任。2017年より邦銀系初のインパクト投資ファンド、2019年に2号ファンド「はたらくFUND」を創設。GSG 国内諮問委員会委員、内閣官房「「インパクト投資とグローバルヘルス」に係る研究会」委員、日本CFA協会理事、多摩大学社会的投資研究所客員研究員等を兼任。日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」受賞。

中村 将人 (GLIN Impact Capital 有限責任事業組合 代表パートナー)

三菱商事にて途上国事業、AI/IoT 新規事業開発、ベンチャー投資・協業検討、DX を担当。インドネシア駐在を経てインパクト/ESG 投資・社会起業論を学ぶ為に Harvard Business School(HBS) に留学、同校 Impact Investing Club President を務める。インパクト投資の先駆者である米国 Acumen Fund にてインパクト/ESG 投資に従事。上場企業 ESG 対応支援アドバイザー多数実施。Harvard 大学経営大学院修了。

安西 智宏 (株式会社ファストトラックイニシアティブ 代表パートナー)

生命科学の博士取得後にアーサー・D・リトル(ジャパン)に入社。2006 年にバイオ・ヘルステック特化の VC であるファストトラックイニシアティブに参画。「いのち」と「くらし」へのインベストメント・チェーンを繋ぐことをライフワークとする。現在、東京と米国ボストンの 2 拠点で投資活動を展開。日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA) 産学連携部会委員。東京大学理学部卒、同大学大学院博士課程修了。MIT スローン校 AMP 修了。

石井 菜穂子 (東京大学理事、未来ビジョン研究センター 教授、グローバル・コモンズ・センター ディレクター)

1981 年大蔵省 (現財務省) 入省。国際通貨基金 (IMF) エコノミスト、世界銀行ベトナム担当、世界銀行スリランカ担当局長などを歴任。2010 年財務省副財務官。2012 年地球環境ファシリティ CEO。2020 年 8 月より東京大学理事、未来ビジョン研究センター教授。新設されたグローバル・コモンズ・センターのディレクターとして、人類の共有財産である「グローバル・コモンズ」の責任ある管理について、国際的に共有される知的枠組みの構築を目指している。東京大学博士 (国際協力学)。

永井 良三 (自治医科大学 学長)

1974 年 9 月	東京大学医学部医学科卒業
1983 年 7 月 - 1987 年 12 月	University of Vermont, Visiting Assistant Professor
1988 年 7 月 - 1991 年 4 月	東京大学医学部附属病院検査部講師
1993 年 3 月 - 1995 年 3 月	東京大学医学部第三内科助教授
1995 年 4 月 - 1999 年 10 月	群馬大学医学部第二内科教授
1999 年 5 月 - 2012 年 3 月	東京大学医学系研究科内科学専攻循環器内科教授
2003 年 4 月 - 2007 年 3 月	東京大学医学部附属病院長
2012 年 4 月	自治医科大学学長
2019 年 5 月	宮内庁皇室医務主管

城山 英明（東京大学未来ビジョン研究センター センター長、教授 公共政策大学院教授、法学政治学研究科 教授）

1989年東京大学法学部卒業。1994年東京大学大学院法学政治学研究科助教授、2006年東京大学大学院法学政治学研究科教授、2010年東京大学公共政策大学院教授。東京大学政策ビジョン研究センター長（2010-2014年）、東京大学公共政策大学院長（2014-2016年）等を経て、2021年より未来ビジョン研究センター長。

専門は行政学で、国際行政、科学技術と公共政策、政策形成プロセスについて研究している。主要業績に、『国際援助行政』（東京大学出版会、2007）、『国際行政論』（有斐閣、2013年）、『科学技術と政治』（ミネルヴァ書房、2018年）、『グローバル保健ガバナンス』（編著、東信堂、2020年）等の著作がある。

相澤 康則（東京工業大学生命理工学院 准教授）

1994年 京都大学薬学部 卒業

1999年 京都大学薬学研究科後期博士課程 修了

1999年 博士号（薬学）取得「二量体タンパク質によるDNA塩基配列の分子認識機構」

1999年 - 2002年 米国コロンビア大学 生化学・生物物理学部 博士研究員

2002年 - 2005年 米国ジョージア州ホプキンス大学 医学部 博士研究員

2005年 - 2017年 東京工業大学 生命理工学研究科 講師

2017年 - 現在 東京工業大学 生命理工学研究科 准教授

2019年 - 2021年 株式会社 Logomix 共同創業者&CEO

2021年 - 現在 株式会社 Logomix 共同創業者&CSO

2021年 - 現在 神奈川県立産業技術総合科学研究所 非常勤研究員及びアドバイザー

・ゲノム合成国際コンソーシアム GP-write のメンバー

・酵母ゲノム全合成国際プロジェクト Sc2.0 の参画メンバー（日本人唯一）

村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究副部長（テマリーダー））

博士（保健学）、公衆衛生学修士、看護師、保健師。2009年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。東京大学高齢社会総合研究機構、ミシガン大学公衆衛生大学院を経て、2020年東京都健康長寿医療センター研究所・専門副部長。2021年より現職。日本公衆衛生学会奨励賞、公益財団法人長寿科学振興財団長寿科学賞、日本疫学会奨励賞など受賞歴多数。専門は、公衆衛生学、老年学。社会参加、ソーシャルキャピタル、社会的孤立・孤独をキーワードに、人々のつながりや地域の文化・風土が健康に及ぼす影響について研究。著書に、「『つながり』と健康格差」（ポプラ社）など。

浅野 薫（株式会社メディカロイド 代表取締役 社長執行役員 CEO、シスメックス株式会社 取締役 専務執行役員 CTO、R&D・インキュベーション・MR 事業担当）

1983年3月 大阪大学大学院 工学研究科 電子工学専攻卒業

1987年8月 東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）入社

2005年4月 中央研究所長（本部長）

2009年4月 執行役員 中央研究所長

2011年4月 執行役員 研究開発企画本部長

2013年4月 上席執行役員 中央研究所長

株式会社メディカロイド 代表取締役副社長

2014年6月 取締役 上席執行役員

2015年4月 取締役 常務執行役員

2017年4月 取締役 専務執行役員

2018年4月 取締役 専務執行役員 LS ビジネスユニット COO 兼 CTO

2020年6月 取締役 専務執行役員 LS ビジネスユニット COO 兼 CTO

株式会社メディカロイド 代表取締役 社長執行役員 CEO

2021年4月 取締役 専務執行役員 CTO

株式会社メディカロイド 代表取締役 社長執行役員 CEO

山口 雷藏（神戸大学大学院医学研究科外科学講座 特命教授、神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター 副センター長）

産業医科大学 医学部卒。大学院卒。国立がんセンター中央病院、静岡がんセンターを経て、帝京大学医学部や神戸大学大学院医学研究科で教授として長年がん医療に従事。多くのがん手術、薬物療法の経験を持ち、なかでもロボット支援手術に関しては、日本導入初期からその臨床応用に関わる。日本で最初のロボット支援手術の fire fly 臨床試験も実施。神戸大学では国産手術支援ロボット“hinotori”の開発に携わり、現在は内閣府の地方創生補助金事業の遠隔ロボット手術支援プロジェクトの主任研究者を併任。

岡田 有香（グレイス杉山クリニック SHIBUYA 院長）

日本産科婦人科学会専門医。2014年 順天堂大学医学部を卒業し、2014年から聖路加国際病院で8年勤務。出産や手術、不妊治療の全てに携わる。聖路加国際病院では子宮内膜症や低用量ピルの診療とがん治療前の卵子凍結などにも携わり、杉山産婦人科で不妊治療を学ぶ。不妊治療に多くの方が苦しむのを見て、不妊治療に進む前から定期的に婦人科にかかり不妊予防を行う重要性を改めて認識し、グレイス杉山クリニック SHIBUYA 院長に就任。生理の知識や妊活、卵子凍結について Instagram でも発信している。

勝見 祐幸（株式会社グレイスグループ代表取締役 CEO）

東京大学卒業、国際大学MBA。三菱石油、ジェミニコンサルティング、インフィニオンテクノロジーを経て、2001年に有限会社ジェイブランディングを設立、企業の採用支援、ベンチャー企業支援に携わってきた。2020年株式会社グレイスグループを創業、三女の父として、女性の活躍支援にライフワークとして取り組む。

池谷 裕二（東京大学大学院薬学系研究科 教授、ERATO 池谷脳 AI 融合プロジェクト研究総括）

1998 年、東京大学・大学院薬学系研究科で薬学博士号取得。2002 年から約 2 年半のコーンビア大学・客員研究員を経て、東京大学教授。著書に『高校生の勉強法』『受験脳の作り方』『賢人の勉強術』『記憶力を磨く方法』『脳の仕組みと科学的勉強法』など、その他テレビ出演や翻訳・監修など多数。ERATO 池谷脳 AI 融合プロジェクト統括も務める。2018 年よりヒューマンキャンパス高等学校 AI 大学進学コース学びのアドバイザーに就任。

標葉 隆馬（大阪大学・社会技術共創研究センター 准教授）

京都大学農学部応用生命科学科卒業後、同大大学院生命科学研究科博士課程修了。博士（生命科学）。総合研究大学院大学助教、成城大学文芸学部マスコミュニケーション学科准教授を経て、現在は大阪大学社会技術共創研究センター准教授。専門は科学社会学と科学技術政策論。著書に『責任ある科学技術ガバナンス概論』（ナカニシヤ出版）、その他論文多数。日本学術会議若手アカデミー特任連携会員。

岩澤 誠一郎（名古屋商科大学ビジネススクール 教授）

1987 年野村総合研究所入社、証券アナリスト業務に従事。98 年に野村証券に転籍、10 年にマネージング・ディレクター。12 年から名古屋商科大学ビジネススクール教授。22 年に同大学大学院研究科長に就任。専門は金融経済学・行動経済学。著書に『ケースメソッド MBA 実況中継 04 行動経済学』。米ハーバード大学博士（経済学）。

児玉 彩（株式会社グッドパッチ UX デザイナー）

千葉工業大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻修了。株式会社グッドパッチ UX(User Experience)デザイナー。医療・自動車・スポーツ・エンタメなど多様な業界のクライアントと並走し、サービスデザインやデジタルプロダクト開発における UX 設計およびプロジェクトマネジメントを行う。UX 領域での主な担当分野は、ユーザーインタビューやユーザーテスト、分析、アイディエーション、体験設計など。